

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8229
担当部課名	市民部	交通安全	課	
事務事業名	交通安全思想普及啓発費その他啓発費		事業コード	23210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第2節	安心して暮らせるまちづくり	~63年度
施策名	第1施策	交通事故のないまちづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

平成13年度交通安全標語・作文・ポスター募集要綱
--------------------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
交通安全思想の普及徹底及び交通安全意識の高揚を図り、交通事故をなくす。		相模原市在住・在学・在勤	
		対象数	約62万人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
募集用ポスター作成450部 137千円 応募数 標語(小・中学生の部)717点、標語(一般の部)1544点、作文(小学校低学年の部)13点、作文(小学校高学年の部)13点、ポスター(小・中学生の部)374点、ポスター(一般の部)55点 審査会 委員謝礼12千円 構成員 警察署交通課長(相・南)、交通安全協会(相・南)、安全運転管理者会長(相・南)、広聴広報課長、指導課指導主事(3名)、市民部長、交通安全課長 表彰 賞状角筒、入選者記念品 84千円 小・中学生の応募者に記念品贈呈 163千円		交通安全教育の充実	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~年度

4 評価指標

指標名	小・中学生の応募率	交通事故の減少率
指標式	小・中学生の部応募数/市内小・中学生の児童・生徒数×100	100-(相模原市の今年交通事故発生件数/相模原市の前年交通事故発生件数×100)
指標設定の意図	応募率により次世代を担う小・中学生の交通安全意識のレベルを表す	交通安全意識の浸透されていけば、交通事故が減少する

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	3	3	a 2	b 10	10	
指標	-4	-5	c 2	d 1	7	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	404	406	396	451	446
	人員・時間数	(0.25人)	(0.25人)	(0.25人)	(0.25人)	(0.25人)
	人件費	1,550	1,550	1,550	1,550	1,550
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	1,954	1,956	1,946	2,001	1,996
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 110.0%	
	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b} = \frac{2.0}{10.0} \times 100 = 20.0\%$	$\frac{c}{d} = \frac{2.0}{1.0} \times 100 = 200.0\%$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由:	交通事故が減少していくことが目標であるため、増加傾向にあった交通事故件数が減少したことは高い評価となった。更に今後も交通事故0を目指す必要がある。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A:適応している	理由:	交通安全モラルが叫ばれる中で、対象者が当該事業に取り組むことにより交通安全意識の高揚が図れる。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A:妥当である	理由:	応募作品の整理等に経費がかかっているが、入選作品を翌年度の啓発活動に使用し、交通安全思想の普及に役立っている。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由:	交通安全思想普及啓発のために、効果的である。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A:満足できる	理由:	応募者が減少している中で本事業に対する市民の関心が低いと考える。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	交通安全思想普及啓発のために、効果的である。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<b>説明:</b> 応募方法等を検討することにより応募率UPを図る必要がある。
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<b>説明:</b> 参加記念品等の経費を削ることはできる。

7 総合評価

評価 B ▼		他自治体の類似事業との比較	神奈川県では、交通安全ポスターコンクールを募集
			説明
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--